

# Photoshop Elementsの 画面を切り替えよう

Photoshop Elementsのホーム画面で、Elements Organizer (写真の管理/整理)とPhotoshop Elements Editor (写真の修正/加工)を起動し、切り替えます。それぞれの画面から切り替えることもできます。

## 1 最初に起動するアプリケーションを選ぶ

**ホーム画面**

1 Photoshop Elementsを起動すると (P.032参照)、最初にホーム画面が表示されます。

2 いずれかのボタンをクリックすると、対応するアプリが起動します。

**Elements Organizer**

**Photoshop Elements Editor**

**KEY WORD**  
ホーム画面

ホーム画面は、利用するアプリケーションを選択するための画面です。[整理]をクリックすると、写真を整理/管理するためのアプリケーション「Elements Organizer」が、[写真の編集]をクリックすると、写真を補正/加工するためのアプリケーション「Photoshop Elements Editor」がそれぞれ起動します。

**KEY WORD**  
OrganizerとEditor

Elements Organizerは、取り込んだ写真を、人物やイベントなどで分類したり、目的に合わせて写真をまとめたりします。Photoshop Elements Editor (Elements EditorまたはEditorと表記)は、各編集メニューのほか、[クイック] [ガイド] [エキスパート]に用意された機能を利用して写真の編集を行います。

## 2 2つのアプリケーションを切り替えて使う

1 Elements Organizerで写真を選択して、

2 [編集]をクリックすると、

3 Elements Editorで写真が開きます (MEMO参照)。

4 [整理]をクリックすると、

5 Elements Organizerの画面に戻ります。

**HINT参照**

**MEMO参照**

**MEMO**  
2つのアプリケーションの切り替え

Elements OrganizerとElements Editorは、左の手順に従って切り替えることができます。両方が起動している状態では、Windowsのタスクバーのアイコンをクリックして切り替えることもできます。なお、RAWファイルを選択した場合はCamera Rawが起動します (P.242参照)。

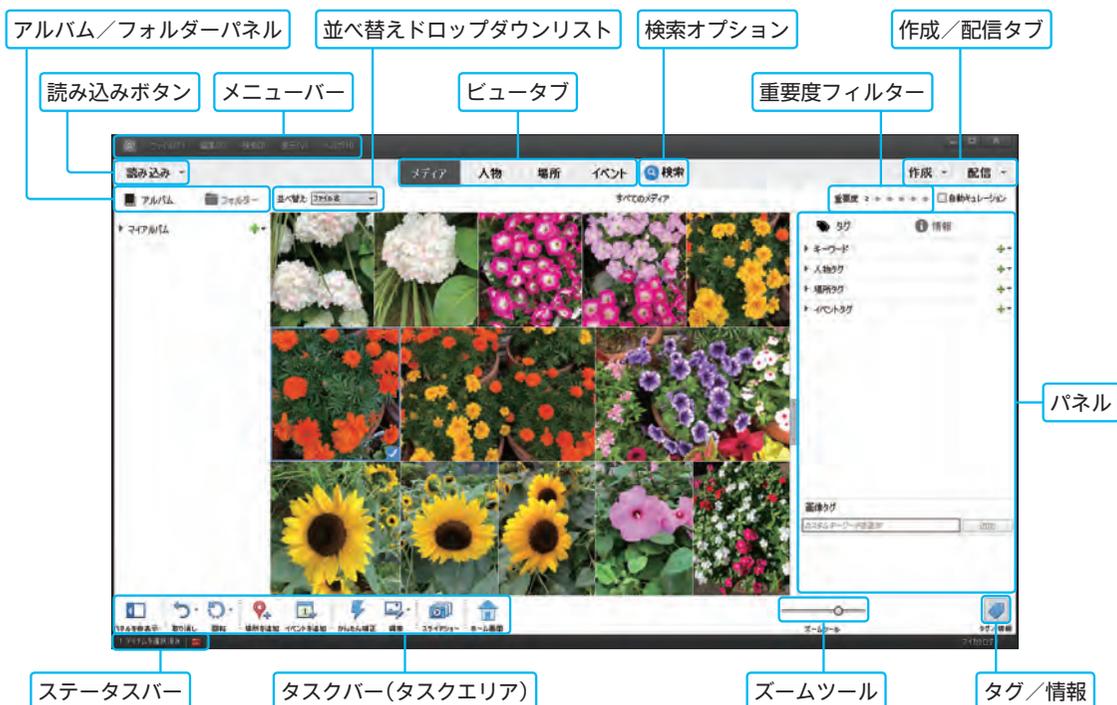
**HINT**  
画像を編集集中

Elements Editorで写真を表示している場合、表示したままElements Organizerに戻ると、[画像を編集集中]が表示されます。編集が終了したら、写真を閉じておきましょう (P.089参照)。

# Elements Organizerの 画面構成を知ろう

Elements Organizerには、写真を管理するためのさまざまな機能が用意されています。写真の並び替えや検索などをかんたんに行え、写真の表示方法(ビュー)を切り替えることができます。画面各部の名称を覚えておきましょう。

## 1 Elements Organizerの画面構成



主な項目名	解説
メニューバー	Elements Organizerの機能を「メニュー」として分類し、まとめたものです。
検索オプション	さまざまな条件から検索できる検索画面に切り替わります。
アルバム/フォルダーパネル	アルバム、フォルダーの一覧を表示します。パネルの切り替えはタブで行います。
ビュータブ	写真を表示するビューの種類を切り替えます。
作成/配信タブ	フォトブックなどの作成、SNSへのアップロード、メールでの送信などを行います。
パネル	タグパネル、情報パネル、かんたん補正パネルなどを表示します。
タスクバー(タスクエリア)	主に写真に対する操作を行うボタンが集められています。
ズームツール	写真のサムネイル(縮小イメージ)を拡大/縮小します。
タグ/情報	パネルの表示/非表示を切り替えます。
ステータスバー	取り込んだ写真に関するさまざまな情報が表示されます。

## 2 ビューを切り替える

### 人物ビュー

人物タブをクリックすると、人物ごとに表示します。



### 場所ビュー

場所タブをクリックすると、撮影場所ごとに表示します。



### イベントビュー

イベントタブをクリックすると、日時やできごと別に表示します。



### ビューの切り替え

ビューは、写真の表示方法のことです。画面上部のビュータブをクリックして、メディア、人物、場所、イベントの4つのビューを切り替えます。Photoshop Elements 2203では、[検索]が追加されました(P.076参照)。

#### • メディアビュー

Elements Organizerに取り込まれた写真を表示します。タグや重要度など写真への情報の追加、アルバムの作成等を行います。

#### • 人物ビュー

写真に写っている人物ごとに写真を分類して表示します。人物による分類が必要です(Sec.15参照)。

#### • 場所ビュー

撮影場所ごとに写真を分類して表示します。写真の位置情報をもとに撮影場所を表示します。

#### • イベントビュー

日時やできごと別に分類して写真を表示します。イベントによる分類が必要です(Sec.17参照)。



### パネルの表示

画面右下のパネル表示ボタンをクリックすると、パネルの表示/非表示を切り替えることができます。利用可能なパネルはビューの種類によって異なります。タグ/情報パネルの利用方法については、Sec.18を参照してください。

# ツールボックスの 操作方法を知ろう

ツールボックスは、写真編集のツールが配置されている領域です。写真の範囲を選択するクイック選択ツール、写真の一部を動かす移動ツール、写真の一部を消す消しゴムツールなど、さまざまなツールが用意されています。

## 1 ツールの名称



### クイックモードのツール

左図はエキスパートモードのツールボックスです。クイックモードでは、このうち特によく使う9つのツールと、クイックモードのみで使える歯を白くするツール の計10ツールが使用できます。ガイドモードでは、ズームツール と手のひらツール の2ツールが使用できます。



### ツールボックス

「ツールボックス」では、アイコンをクリックして選択することで、使用するツールを切り替えることができます。



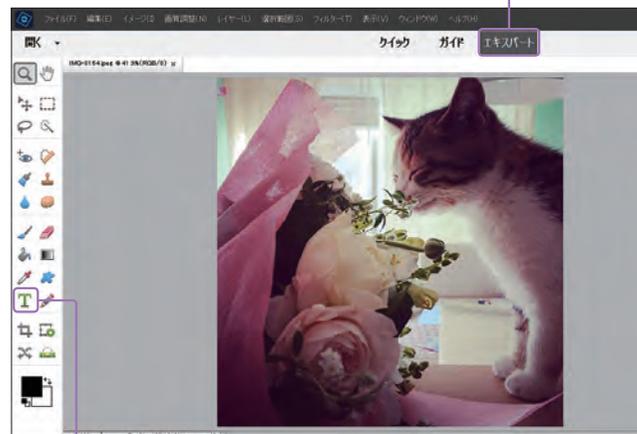
### ショートカットキーでの ツールの切り替え

半角英数字が入力できる状態で、左図のツール名の横に記載されているアルファベットのキーを押すと、そのツールに切り替えることができます。同じキーを繰り返し押し続けると、隠れているツール(P.083のMEMO参照)に切り替えることができます。

## 2

## ツールオプションバーを利用する

1 [エキスパート] をクリックしてエキスパートモードに切り替えます。

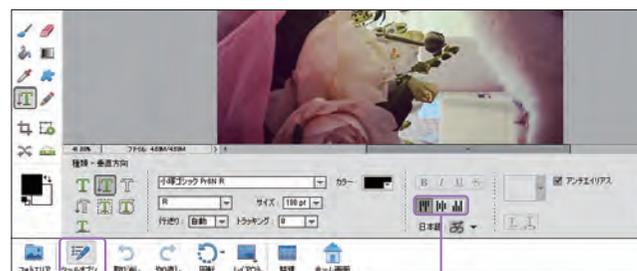


2 テキストツールをクリックして選択すると、

3 テキストツールのツールオプションバーが表示されます。



4 縦書き文字ツールのアイコンをクリックして選択すると、



HINT参照

5 ツールオプションバーの内容も縦書きツールのものになります。



### ツールオプションバー

ツールオプションバーには、選択したツールのための設定項目が表示されます。たとえば、文字を入力するための「横書き文字ツール」であれば、フォントや文字サイズを設定するためのリストやボタンが表示されます。



### 隠れているツールを利用する

ツールオプションバーの左端にツールのアイコンがいくつか配置されていることがあります。これらは「隠れているツール」と呼ばれ、ツールボックスに配置されているツールと同系統のツールがまとめられています。たとえば、横書き文字ツールの隠れているツールには、「縦書き文字ツール」や「縦書きマスク文字ツール」などがあります。隠れているツールをクリックして使うと、ツールボックスにはそのツールが表示されるようになります。



### ツールオプションバーの 表示/非表示

タスクバーの[ツールオプション]をクリックすると、ツールオプションバーの表示/非表示を切り替えることができます。

# くすんだ色の写真を 鮮やかにしよう

全体的に灰色っぽくくすんだ色合いになってしまった写真は、カラーツールの彩度を調整するとよいでしょう。彩度とは色の鮮やかさを表し、彩度が高いほど原色に近づきます。また、自然な彩度を利用することもできます。

**BEFORE** くすんだ色合いを鮮やかにしたい。

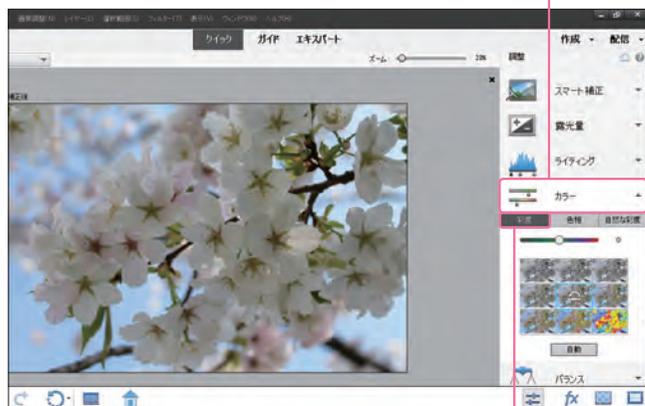


**AFTER** 花びらが鮮やかになった。



## 1 彩度を調整する

1 調整パネルの[カラー]をクリックして、



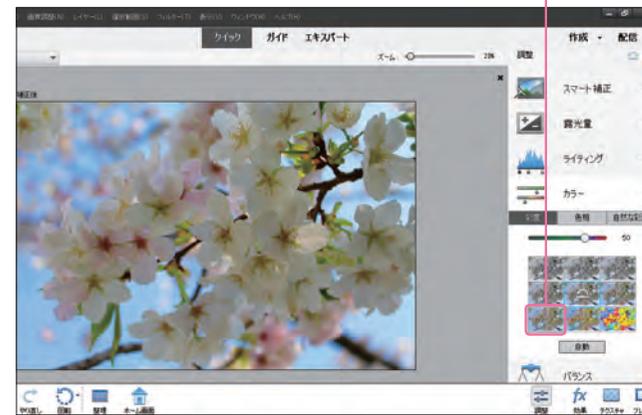
2 [彩度]をクリックします。

**KEYWORD** 彩度/色相

彩度とは、色の鮮やかさを表す値です。彩度を上げるとそれぞれの色が原色に近づき、彩度を下げると色が浅くなり、灰色に近づきます。色相とは、赤や青などの色味の違いです。



3 サムネイルにマウスポインターを合わせて、プレビューを確認します。



4 意図に近いイメージのサムネイルをクリックします。

MEMO

彩度の上げすぎに注意

彩度を上げすぎると、もともとはわずかに色が付いていた部分が完全な赤や青に変わってしまい、写真の色のバランスが崩れてしまうことがあります。



彩度を上げすぎると、色のバランスが崩れてしまいます。



**HINT** 自然な彩度を利用する

彩度を強めすぎると、写真の色がおかしくなってしまいます。[自然な彩度]を利用すると、色がおかしくならない範囲で彩度を調整することができます。



1 [自然な彩度]をクリックして、

2 サムネイルをクリックします。

# 写真の雰囲気を ワンタッチで変化させよう

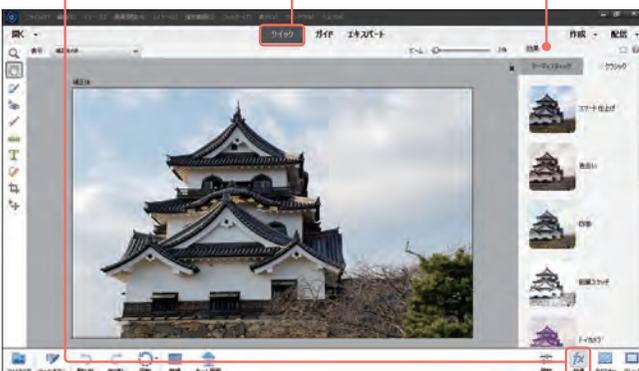
写真をおしゃれに変化するテクニックとして、効果、フレーム、テキストチャを利用できます。それぞれに複数の効果が用意されています。確定するまでは、何度でも試せるので、写真の雰囲気を変えてみましょう。

## 1 効果を利用する

1 写真をElements Editorのクイックモードで開いておきます。

2 [効果] をクリックすると、

3 効果パネルが表示されます。



4 効果のサムネイルをクリックすると、



5 効果が適用されて写真が変化します。

P.125のMEMO参照

MEMO

### 効果の利用

クイックモードの効果パネルには、11種類の効果が用意されています。効果は写真を独特な色合いに変える、写真の中心付近を明るくしつつ四隅を暗くするなど、複数の補正をまとめて適用し、写真の見た目を劇的に変化させるものです。なお、エキスパートモードでも効果パネルは利用できますが、用意されている効果の種類はクイックモードのものとは異なります。

HINT

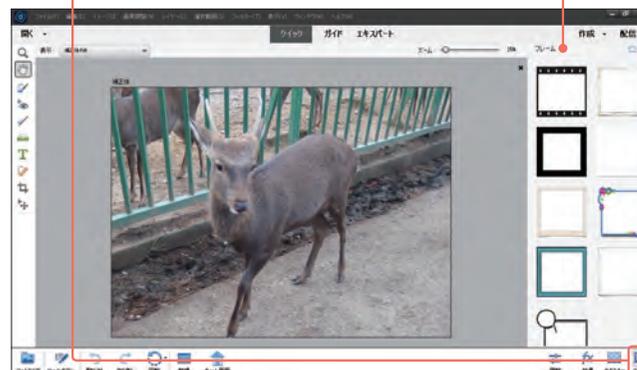
### 効果は重ねて設定できない

効果パネルから複数の効果を連続して選択しても重ねがけはされず、最後に選択した効果だけが適用されます。ただし、適用後にほかの機能を使用したり、編集画面を切り替えたりしてから再度効果パネルに戻った場合は、効果が一度確定され重ねがけできてしまいます。重ねがけしたくない場合は、先にタスクバーの[取り消し]をクリックして前の効果を取り消してください。

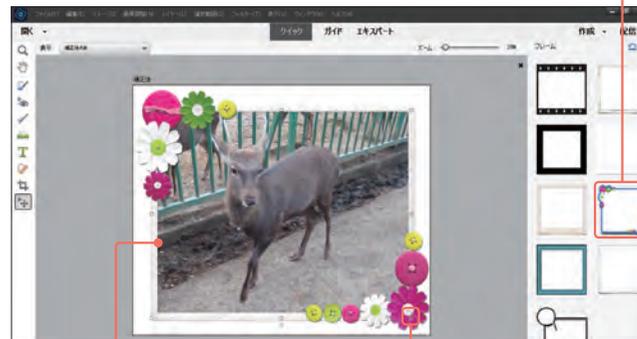
## 2 フレームを付ける

1 [フレーム] をクリックすると、

2 フレームパネルが表示されます。



3 フレームのサムネイルをクリックすると、

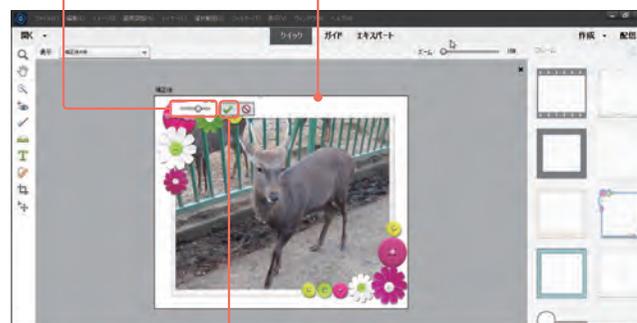


4 写真にフレームが付きます。

5 写真周囲のハンドルをドラッグすると、

HINT参照

6 写真の大きさが変わります。



7 ここをクリックして確定します。

8 編集後の写真を保存します (Sec.29参照)。

MEMO

### テキストチャパネルの利用

[テキストチャ] をクリックすると、テキストチャパネルが表示されます。テキストチャパネルには全10種類のテキストチャ(模様)が用意されていて、いずれかのサムネイルをクリックすると、写真全体が半透明のテキストチャに覆われます。写真にユニークな印象を加えたいときに利用しましょう。



テキストチャ(サンバースト)の適用例

HINT

### 写真の拡大/縮小、回転、移動

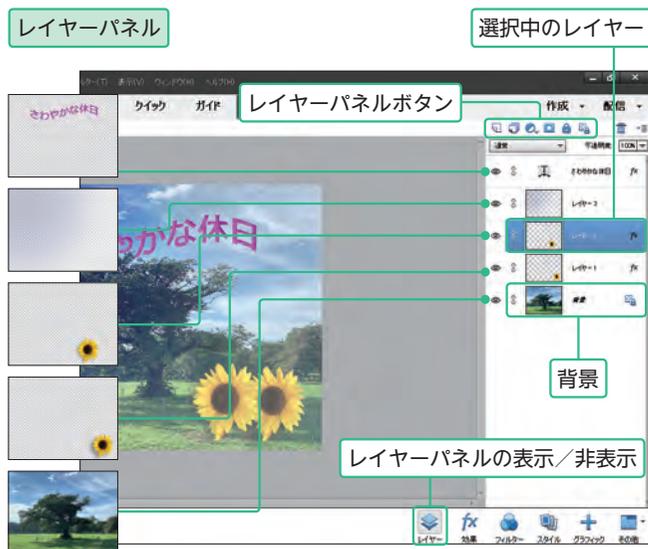
フレームを設定した写真をダブルクリックすると写真が選択され、周囲にハンドルが表示されます。ハンドルをドラッグすると写真を拡大/縮小できます。また、ズームインスライダーも利用できます。写真上をドラッグすると写真はフレーム内で移動します。さらに、回転ハンドルをドラッグすると、写真を回転させることができます。



# レイヤーのしくみを知ろう

レイヤーとは1枚のシートのようなもので、複数のシートを重ねて合成することで1枚の画像を作ります。合成に使用するレイヤーにはさまざまな機能があり、[レイヤー]パネルを使って操作します。

## 1 レイヤーとレイヤーパネル



レイヤーパネル関連の名称	機能
新規レイヤーを作成	透明な新しいレイヤーの作成
塗りつぶしまたは調整レイヤーを新規作成	塗りつぶしレイヤーまたは調整レイヤーの作成
レイヤーマスクを追加	レイヤーの一部を非表示にするレイヤーマスクの追加
すべてのピクセルをロック	選択中のレイヤーの編集禁止
透明ピクセルをロック	レイヤーの透明部分の編集禁止
選択中のレイヤー	現在操作対象のレイヤーを表示
背景	最下層にある特殊なレイヤー
レイヤーパネルの表示/非表示	レイヤーパネルの表示/非表示の切り替え。タスクバーに表示

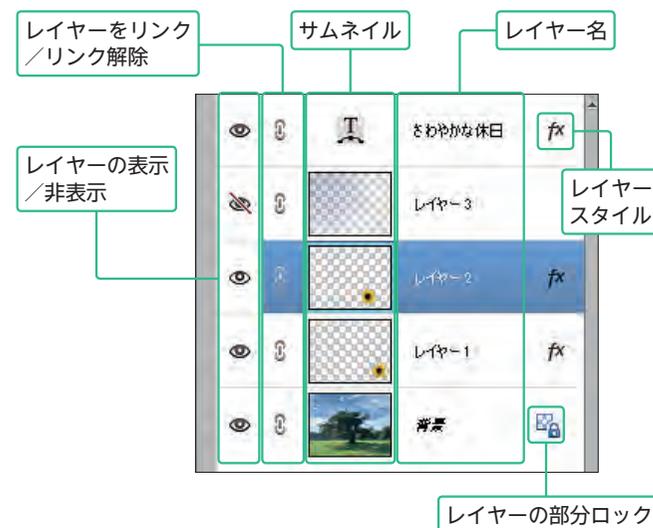
**KEYWORD** レイヤーパネル

レイヤーの管理はレイヤーパネルで行います。[レイヤー]をクリックして、表示/非表示を切り替えます。各レイヤーが一覧表示されており、レイヤーパネル上でレイヤーを選択すると、編集画面でそのレイヤー上の画像を編集できるようになります。また、レイヤーパネル上の順番は重なり順を表しており、パネル上で一番上に表示されているものが最前面、一番下に表示されているものが最背面に配置されます。

**KEYWORD** 背景

「背景」は、レイヤーパネルの最下段のレイヤーです。Elements Organizerからレイヤーのない画像を開いた場合、その画像は「背景」レイヤーになります。「背景」は特殊なレイヤーで、透明色のピクセルを持ってない、ほかのレイヤーより上に移動できない、などの制限があります。「背景」を通常のレイヤーに変更することもできます。

## 2 レイヤーの状態を見る



### レイヤーの表示と非表示

1 レイヤーの表示ボタンをクリックすると、



2 クリックされたレイヤー(背景)が表示されなくなります。



### MEMO レイヤーの状態アイコン

レイヤーパネル上のレイヤーには、状態を表すアイコンがいくつか表示されています。

	レイヤーは表示されている状態
	レイヤーは表示されていない状態
	レイヤーはスタイルが適用されている状態
	操作中のレイヤーとリンクされている状態
	レイヤーはロックされている状態

### MEMO 表示と非表示の切り替え

レイヤーで合成された画像の特徴は、1枚1枚の「層」が重なって1つの画像に見せているということです。それぞれのレイヤーの表示と非表示を切り替えると、その特徴がよくわかります。

また、操作中に表示と非表示を切り替えることで、レイヤーの個別にかかっている効果や、全体を合わせたときにどう見えるかなどを確認することができます。

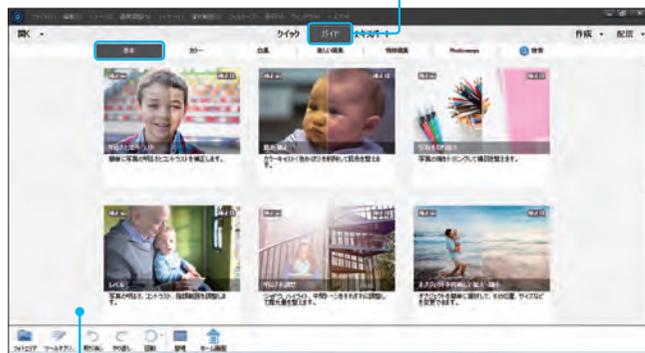
# ガイドモードとは

Elements Editorのガイドモードは、写真を自動で編集する機能です。ガイドに従って設定すると、目的の写真が出来上がります。各機能は、基本、カラー白黒、楽しい編集、特殊編集、Photomergeに分類され、さまざまな機能が用意されています。

## 1 ガイド付き編集を利用する

### 基本

- 1 Elements Editorを開いて、写真を表示します。
- 2 [ガイド]をクリックすると、



- 3 ガイドモードが表示されます。

### カラー



KEY WORD

### ガイドモード

ガイドモードとは、操作を完全にマスターしていない人でも目的の写真に加工できる編集画面です。凝った写真に変更するのにも、ガイドの指示に従っていけば完成するので便利です。

ガイドモードを利用するには、利用する写真を表示しておき、[ガイド]をクリックして、目的のガイド機能を選択します。



MEMO

### ガイドモード：基本

「基本」には、写真加工の基本である機能として、明るさとコントラスト、肌色補正、写真を切り抜き、レベル、明るさを調整、写真のサイズ変更、回転と角度補正、シャープ、ピネット効果が用意されています。



MEMO

### ガイドモード：カラー

「カラー」には、カラーを調整するための機能として、カラーを調整、ロモカメラ効果、カラーバランスを補正、高彩度フィルム効果が用意されています。

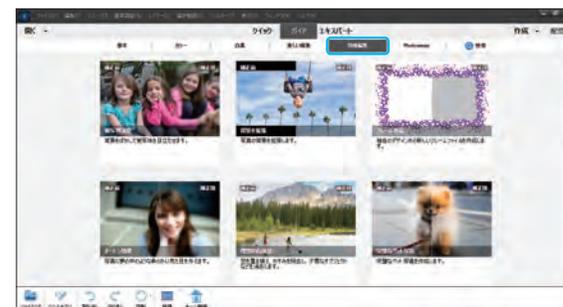
### 白黒



### 楽しい編集



### 特殊編集



### Photomerge



MEMO

### ガイドモード：白黒

「白黒」には、カラー写真を白黒にしたり、一部のカラーを強調させたり、さまざまな加工を加える機能が用意されています。



MEMO

### ガイドモード：楽しい編集

「楽しい編集」には、反射やスピード効果、写真テキストなど写真に面白い効果をつける機能が用意されています。



MEMO

### ガイドモード：特殊編集

「特殊編集」には、写真をほかしたり、フレームを付けたり、背景を置き換えたりといった特殊な編集機能が用意されています。



MEMO

### ガイドモード：Photomerge

「Photomerge」には、複数の写真から1枚の写真に合成する機能が用意されています。ほかの写真の一部を合成したり、複数枚の写真からパノラマ写真を作成したり、範囲を指定するだけでかんたんに編集できます。

# Camera Rawの 基本操作を知ろう

RAWファイルは、Photoshop Elementsのアドインソフト「Camera Raw」で開くことができます。最初にElements OrganizerまたはEditorでRAW写真を開くと、Camera Rawが自動的に起動します。右側のパネルに画像情報や補正機能が表示されます(バージョンによって画面が異なります)。

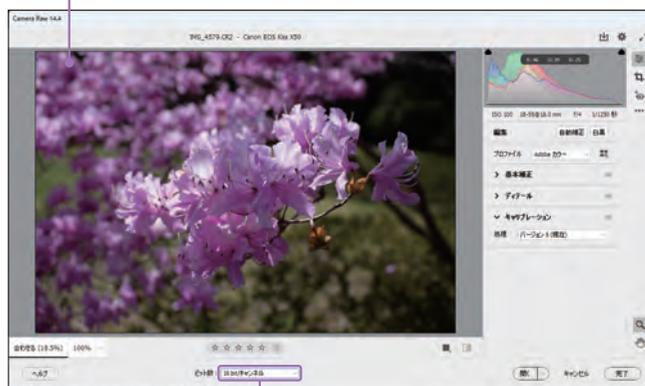
## 1 RAWファイルを開く

1 Elements Organizerに取り込んだRAW形式の写真を選択して、



2 [編集]をクリックすると(またはEditorでファイルを選択すると)、

3 Camera Rawで写真が開かれます。



4 ここをクリックして[16bit/チャンネル]を選択します(MEMO参照)。



### RAWとJPEGの 見分け方

RAWとJPEG両方のファイルがあって、一見ただけではどちらがRAWファイルかわからない場合は、[タグ/情報]の[情報]からファイル名やサイズを確認します。なお、RAWファイルの拡張子(下の画像の場合は.CR2)はカメラのメーカーごとに異なります。



### 16bitで編集する

bit(ビット)数が多いほど色情報は多くなります。RAWはJPEGよりも多くの色情報を持つことができるので、16bitで編集しましょう。

## 2

## Camera Rawの画面構成



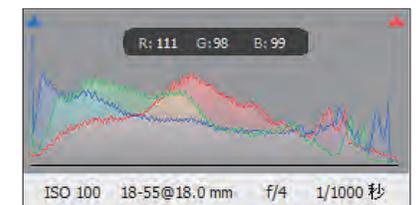
ズームレベル    マークの設定    ビット数オプション    初期設定に切り替え

主な項目名	説明
フルスクリーンモードに切り替え	デスクトップ一杯に拡大表示します。
ツールバー	よく使うツールが画面右上や右横にまとめられています(P.251のMEMO参照)。
コントロール	基本補正、ディテール、キャリブレーションの補正機能が表示されます。
ズームレベル	写真の拡大/縮小表示を切り替えます。
マークの設定	重要度(お気に入り)マークを設定できます。
ビット数オプション	8ビット/16ビットを切り替えます。
補正前と補正後の表示の切り替え	画面の表示方法を切り替えます。
初期設定に切り替え	変更を解除して、画像の初期設定に戻します。
開く	変更を適用して、Photoshop Editorで開きます。
完了	変更を適用して、Raw画面を閉じます。



### 補正とヒストグラムの見方

画像補正の目安となるのが、ヒストグラムによる色バランスの表示です(画像にマウスポインターを合わせた位置のRGB値が表示されます)。通常、ヒストグラムの表示に偏りのないものが「バランスのよい写真」とされます。RAW現像ではなるべくこのヒストグラム上の偏りをなくす作業を行います。あえてバランスを崩して写真に味を出すというテクニックもあります。

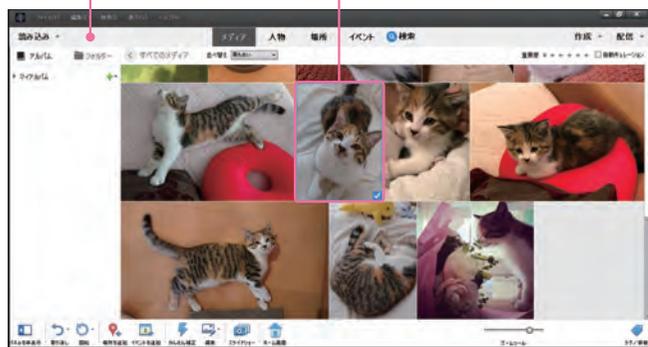


# お気に入りの1枚を印刷しよう

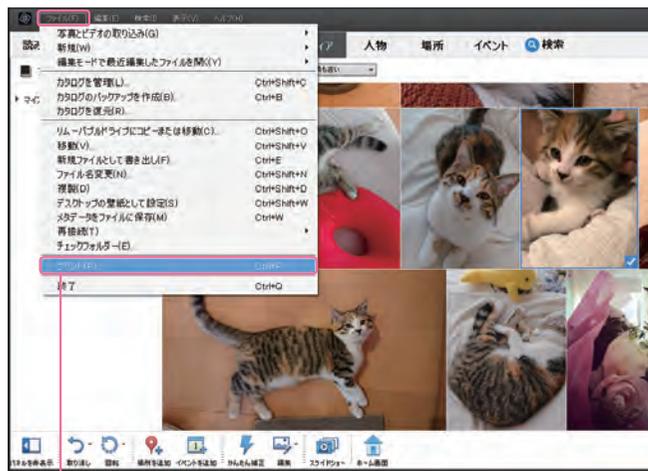
写真の印刷操作は、OSによって制限があります。WindowsではElements OrganizerとElements Editorのどちらでも同じように印刷の操作ができます。macOSではElements Editorでしか印刷操作はできません。

## 1 Elements Organizerから印刷する

1 Elements Organizerを起動します。



2 印刷したい写真を選択し、



3 [ファイル]メニュー→[プリント]の順にクリックします。

MEMO

### Elements Organizerからの印刷

Elements Organizer、Elements Editorともに[ファイル]メニュー→[プリント]の順にクリックして印刷ができます。macOSでこの操作を行うと、Elements Editorが起動して印刷ができます。

MEMO

### macOSでは一部の機能は使えない

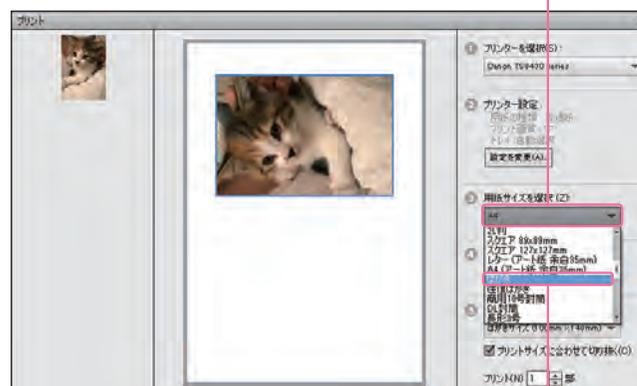
macOSでは、この章で紹介している印刷機能の一部が使用できません。本書では、Windows向けに解説しています。

4 [プリント]ダイアログボックスが表示されます。



5 印刷に使うプリンターを選択して、

6 [用紙サイズを選択]のリストをクリックし、



7 印刷する用紙のサイズを選択します。

8 [プリントサイズを選択]のリストから印刷サイズを選択して、



9 印刷部数を指定し、

用紙に対して写真を拡大/縮小します(MEMO参照)。

10 [プリント]をクリックして印刷を実行します。



### [プリント]ダイアログボックスの設定項目

[プリント]ダイアログボックスでは、以下の設定を行えます。

- 1 プリンターを選択**  
印刷に利用するプリンターを選択します。
- 2 プリンター設定**  
用紙サイズや種類、トレイなどのプリンターの設定を行います。
- 3 用紙サイズを選択**  
用紙サイズを選択します。プリンターで印刷可能なサイズが表示されます。
- 4 プリント形式を選択**  
印刷形式を選択します。
- 5 プリントサイズを選択**  
写真の印刷サイズを選択します。
- 6 [用紙設定] ボタン**  
用紙サイズと向きを設定します。
- 7 [その他のオプション] ボタン**  
ファイル名や日付の印刷などについて設定をします。

MEMO

### サイズを独自に修正する

写真サイズを独自に修正して印刷したい場合は、回転ボタンや拡大率スライダーを使用します。



### 高品質な用紙に印刷する

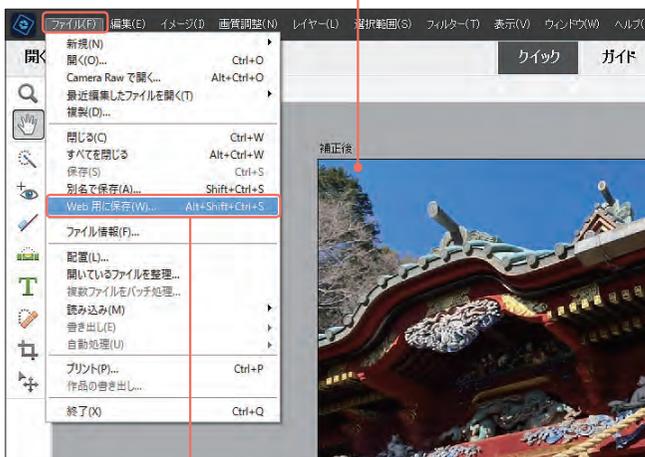
市販されている写真プリント専用紙や、インクジェット紙を使うと、印刷物がより美しくなります。こうした専用紙を利用する場合は、[プリント]ダイアログボックスの[設定を変更]をクリックして、用紙の種類を選んでおきます。なお、この画面はプリンターによって異なることがあります。

# Webページ用に 写真を保存しよう

写真をブログなどのWebページに載せたり、FacebookやInstagramなどのSNSに投稿したりする場合は、ファイルサイズを小さくするために最適化して保存します。最適化にはWeb用に保存を利用します。

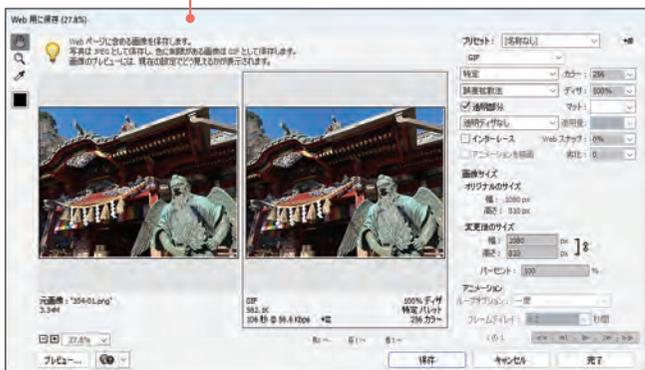
## 1 [Web用に保存] ダイアログボックスを表示する

1 Web用に保存したい写真をPhotoshop Editorで開き、



2 [ファイル]メニュー→[Web用に保存]の順にクリックします。

3 [Web用に保存] ダイアログボックスが表示されます。



### KEYWORD GIF形式、PNG形式、 JPEG形式

[Web用に保存] ダイアログボックスでは、次の3種類のファイル形式で保存できます。

#### ① GIF形式

少ない色数でファイルサイズを抑えられ、イラストやロゴに適しています。

#### ② JPEG形式

ファイルサイズを小さく抑えつつ、きれいに写真を保存するのに適しています。

#### ③ PNG形式

高い圧縮率が特長のファイル形式で、色数が少ないPNG-8形式と、フルカラーのPNG-24形式があります。フルカラーにするとJPEG形式よりファイルサイズが大きくなります。

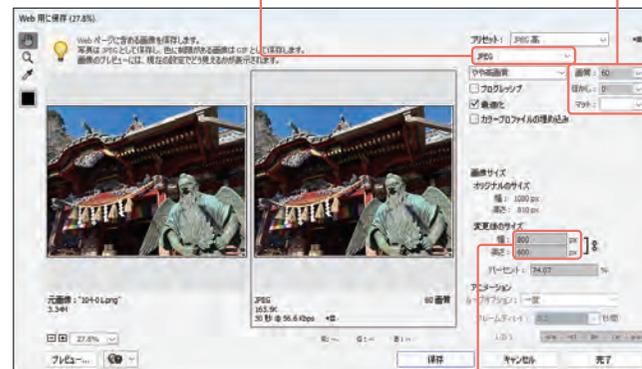
### HINT SNSで共有する

Web用に保存し直した画像は、TwitterなどSNSの投稿にも適しています。SNSへの投稿は、[配信] タブから行えます (App.01 参照)。

## 2 ファイル形式と解像度を変更する

1 ここでファイル形式 (P.292のKEYWORD参照) を選択して、

2 ここで画質を設定し (HINT参照)、

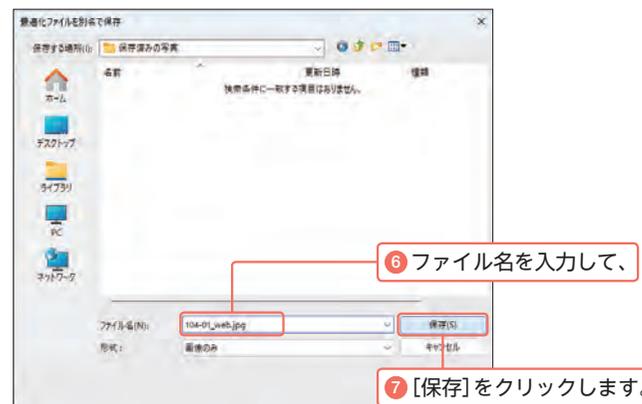


3 ここでピクセルサイズを設定すると、

4 写真の解像度が変更されます。



5 [保存] をクリックします。



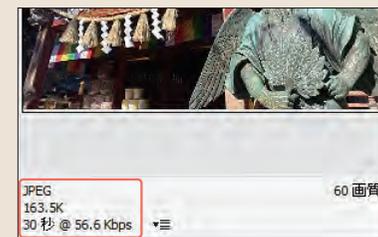
6 ファイル名を入力して、

7 [保存] をクリックします。

### HINT 画質の設定

JPEG形式で保存する際の画質は、[画質]の左の一覧から選択するか、[画質]のボックスに0~100の数値を入力して指定します。数値が大きいほど画質がよくなりますが、ファイルサイズも大きくなります。

設定を変更すると、推定ファイルサイズがプレビュー画像の下に表示されます。



ファイルサイズと推定ダウンロード時間が表示されます。

### MEMO 解像度の設定

手順④の[変更後のサイズ]で最終出力のピクセルサイズを設定することができます。[幅]か[高さ]のどちらかを入力すると、もう一方も自動的に設定されます。なお、ここでピクセルサイズを変更しても、Elements Editorで開いている写真とは別ファイルなので、影響しません。